



シマダヤ株式会社は、政府主催の豊かな低炭素社会を目指すキャンペーン「Fun to Share」に参加しています。



おいしい笑顔をお届けします



## シマダヤ株式会社

人事総務部

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-33-11  
TEL:03-5489-5511 / FAX:03-5489-5507 <https://www.shimadaya.co.jp>

UD FONT

見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。



グリーンプリンティング認定制度を取得している工場で印刷しています。



印刷時に有害な物質を含む浸し水が不要な、水なし印刷を採用しています。

## シマダヤグループ 社会・環境報告書

# 2019





# おいしい笑顔をお届けします

これは、私たちシマダヤの経営コンセプトです。  
たくさんの人に「おいしい！」の笑顔をお届けしたい。  
私たちシマダヤは、「安全・安心」でおいしい商品を皆様にお届けするために、  
社員一丸となって、その実現に向け全力で取り組んでいます。



## 03-04

### シマダヤグループの事業

シマダヤはめん製造業界のリーディングカンパニーとして家庭用事業、業務用事業の分野で事業を展開しています



## 05-06

### トップメッセージ

変革へのチャレンジを通じて持続的に成長する企業を目指します



## 07-10

### 特集1 シマダヤグループのバリューチェーン

安全・安心な商品をお届けします

### 特集2 社会の変化・課題に応える商品づくり

食を通して社会に貢献し続けます



## 11-12

### シマダヤグループ行動規範

シマダヤグループは、経営コンセプトの「おいしい笑顔をお届けします」の精神を具体的な行動に移す際、守るべき重要な6つの行動規範を掲げ実践をしています



## 13-14

### 社会性報告 ～地域社会との関わり～



## 15-17

### 環境報告

- シマダヤグループ環境マネジメントシステム
- 中期環境目的・目標
- 2018年度結果



## 18

### 第三者意見

- 第三者意見を受けて

#### 編集方針

本報告書は、当社のISO14001適用事業所において、経営コンセプト「おいしい笑顔をお届けします」を実現するための事業活動を通じた社会・環境取り組みの情報を提供することを目的に発行しています。

#### 報告対象範囲

シマダヤグループのうち、シマダヤおよびISO14001適用事業所である工場を報告範囲としています。

#### 対象期間

2018年4月から2019年3月(活動については直近のものも含む)

#### 発行

2019年9月発行

#### ウェブサイトのご案内

シマダヤのウェブサイト「めんのシマダヤ味なウェブ」では、本報告書をダウンロードいただける他、商品に関する情報など様々な関連情報をご紹介します。

めんのシマダヤ  検索

<https://www.shimadaya.co.jp>



## シマダヤグループの事業

シマダヤは、1931年の創業以来、めん製造業界のリーディングカンパニーとして「めん」を通して日本の食文化の発展に広く貢献してまいりました。私たちが独自の技術を磨き、安全で安心かつ魅力ある商品を作り続けるのは、お客様の「おいしい笑顔」が見たいからです。

これからもお客様の健康で豊かな食生活に一層貢献できる企業でありたいと願い、皆様に愛され信頼される「シマダヤ」を目指して、社員一丸となってその実現に向け全力で取り組んでまいります。



### シマダヤのCIマーク

シマダヤのCI(コーポレートアイデンティティ)マークは、「お客様とシマダヤをおいしい笑顔で結ぶ」という意味を表しています。2つの円は、お客様とシマダヤの「心のクロスコミュニケーション」を意味しています。中央の笑顔は、「作る喜び・食べる喜び・お客様の笑顔」を表現しています。

### シマダヤグループ行動規範

#### 規範 1

安全な商品とサービスを提供します

#### 規範 2

お客様の満足と安心が得られるように最大限の努力をします

#### 規範 3

法令を遵守し社会的理念に則った企業活動を進めます

#### 規範 4

地球環境問題に積極的、自主的に取り組みます

#### 規範 5

安全で働きやすい職場環境の確保に努めます

#### 規範 6

よき「企業市民」として積極的に社会貢献活動を行います

### 事業内容

シマダヤは、**家庭用事業**、**業務用事業**の分野でお客様のニーズや用途にあった商品を幅広く

事業を展開しています。

取りそろえ、より多くのお客様へ「おいしい笑顔」をお届けするため、おいしく楽しい食シーンをご提案しています。

### 家庭用事業

うどん・そば・中華麺・焼そばなど、バラエティ豊かな一般家庭用麺(チルド麺、冷凍麺)を主にスーパーマーケット・小売店・コンビニエンスストアなどで販売しています。



#### 「流水麺」そば

さっと水でほぐすだけで食べられる、ゆでる必要のないそばです。風味豊かなそば粉を使用し、のどごしと歯切れの良さ、そばの味わいが楽しめます。



「健美麺」食後の血糖値上昇を抑えるうどん 1食  
機能性関与成分としてアルギン酸Ca(カルシウム)を配合し、血糖値を気にされる方も安心して美味しいうどんをお召しあがりいただけます。



冷凍 「健美麺」食塩ゼロ稲庭風うどん 3食  
国産小麦粉を使用した、のどごしのよさと強いコシが特長の、からだにやさしい食塩ゼロのうどんです。凍ったまま半分に分けて使える「ミニダブル」製法です。



### 業務用事業

うどん・そば・ラーメン・パスタを中心とした冷凍麺を、従業員食堂や学校給食、高速道路のサービスエリアをはじめとした外食産業、惣菜や持ち帰り弁当などの中食産業などに向け販売しています。からだの調子を整える食材を3品以上使用した「麺テナンス®」や1食で1日の必要野菜摂取量の1/2以上を摂れる「ベジ麺®」をお客様にご提案しています。

#### 北海道産そば使用 石臼挽きそば

石臼を用いて製粉したそば粉を使用した、そばの香りと甘みが味わえる、なめらかな歯切れの良いそばです。そばの生産量が日本一の北海道産そばを使用しています。



#### 「真打」もみ打ちラーメン<ミニダブル>

独自のもみ打ち製法により、ラーメン専門店のひと手間の「手もみ」を再現した起伏のある麺線形状で、スープの絡みの良さ、コシとなめらかさを味わうことができます。



#### 輸出用3食しょう油ラーメン



#### 輸出用冷凍うどん5食<ミニダブル>



また、国内だけでなく、東南アジア、北米、EU、オセアニア等の国や地域には外食市場向けの冷凍麺、ロングライフ麺を輸出しています。

### シマダヤグループ概要 ISO14001適用事業所(2019年9月現在)

#### シマダヤ株式会社



代表取締役社長  
木下 紀夫

設立 1949年3月  
資本金 10億円  
代表者 代表取締役社長 木下 紀夫  
従業員数 323名(2019年3月末時点)  
事業内容 種類及び関連食品の販売  
所在地 東京都渋谷区恵比寿西1-33-11  
売上高 355億円(2019年3月期)  
事業所数 本社1、支店3、ロジスティクスセンター1、開発研究所1  
登録日 2004年7月16日

#### シマダヤ関東株式会社



代表取締役社長  
相澤 享

「安全・安心」を重点課題とし、環境貢献への取り組みを実行します。

本社(東京都昭島市)  
工場名 ISO14001登録日  
●東京工場(東京都昭島市) ●2004年 7月16日  
●松戸工場(千葉県松戸市) ●2009年10月16日  
●八潮工場(埼玉県八潮市) ●2015年12月21日  
●群馬工場(群馬県前橋市) ●2011年 2月28日  
●前橋工場(群馬県前橋市) ●2010年 2月23日  
●埼玉工場(埼玉県深谷市) ●2010年11月30日

#### シマダヤ西日本株式会社



代表取締役社長  
鈴木 正幸

「安全・安心」な「正品」を安定供給できるよう、日々努力してまいります。

本社(滋賀県近江八幡市)  
工場名 ISO14001登録日  
●滋賀工場(滋賀県近江八幡市) ●2012年 2月28日  
●兵庫工場(兵庫県宍粟市) ●2015年12月21日  
●岐阜工場(岐阜県安八郡) ●2009年10月16日

#### シマダヤ東北株式会社



代表取締役社長  
鎌田 和夫

「安全・安心」への基本動作を実現しながら、おいしい笑顔をお届けします。

本社(宮城県大崎市)  
工場名 ISO14001登録日  
●古川工場(宮城県大崎市) ●2009年 3月23日  
●郡山工場(福島県本宮市) ●2009年 3月23日  
●仙台工場(宮城県仙台市) ●2015年12月21日

### シマダヤグループ工場 ISO14001認証取得工場(2019年9月現在)

#### シマダヤ西日本株式会社

本社所在地: 滋賀県近江八幡市

- 7 滋賀工場(滋賀県近江八幡市)※
- 8 兵庫工場(兵庫県宍粟市)
- 9 岐阜工場(岐阜県安八郡)※



#### シマダヤ東北株式会社

本社所在地: 宮城県大崎市

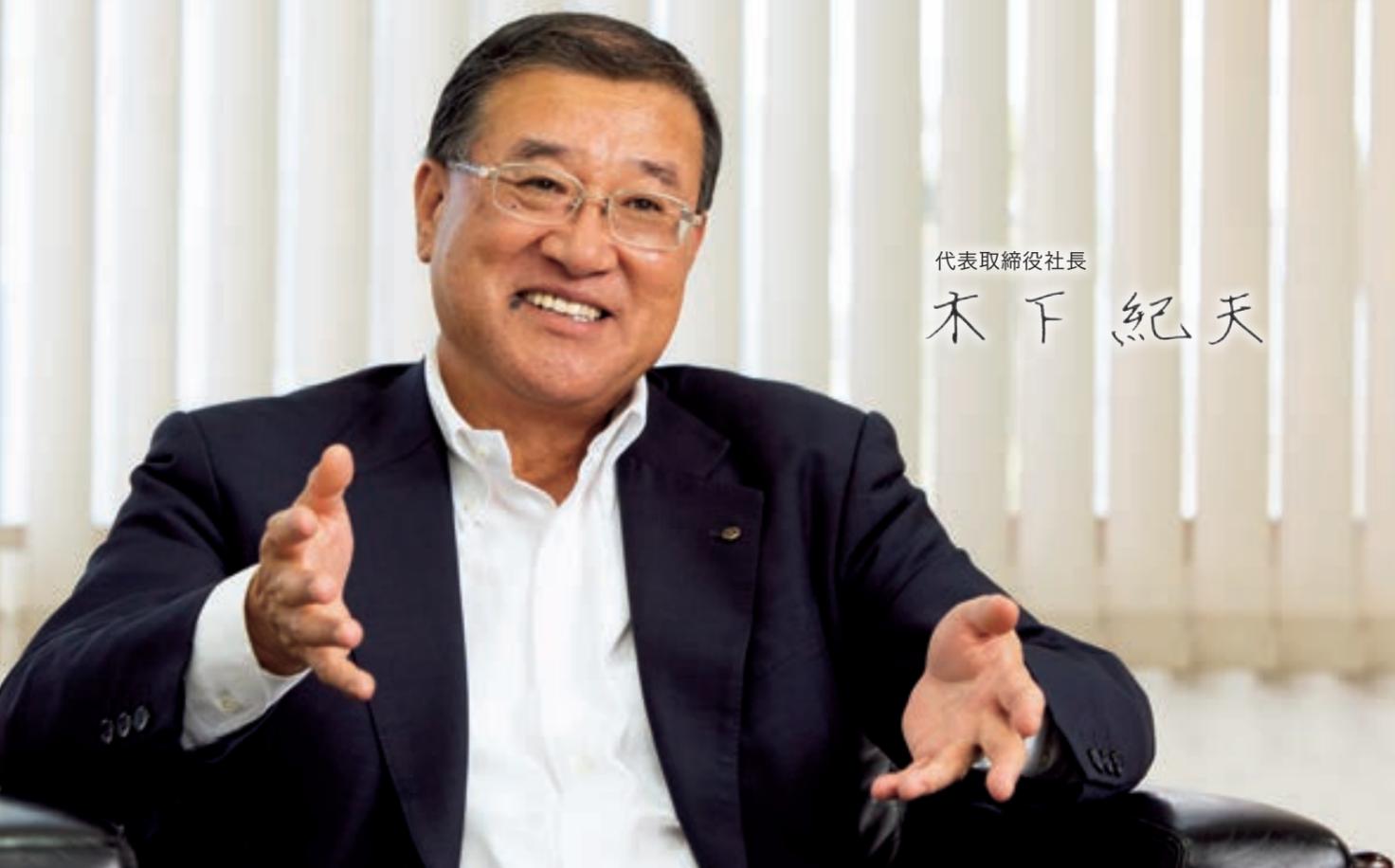
- 10 古川工場(宮城県大崎市)※
- 11 郡山工場(福島県本宮市)※
- 12 仙台工場(宮城県仙台市)

#### シマダヤ関東株式会社

本社所在地: 東京都昭島市

- 1 東京工場(東京都昭島市)※
- 2 松戸工場(千葉県松戸市)※
- 3 八潮工場(埼玉県八潮市)
- 4 群馬工場(群馬県前橋市)※
- 5 前橋工場(群馬県前橋市)※
- 6 埼玉工場(埼玉県深谷市)※

※…FSSC22000認証取得工場です



代表取締役社長

木下 紀夫

## 変革へのチャレンジを通じて 持続的に成長する企業を目指します

### 外部環境と内部環境の両面で 大きな変化が生じた3年間

2018年度は、創業90周年(2021年度)に向けて推進中の6か年中期経営計画「Shimadaya Change & Growth 90」において、前半3か年を締め括る区切りの年となりました。この3年間、私たちシマダヤグループには、外部環境と内部環境の両面で大きな

変化が生じました。

外部環境の変化では、原材料・資材等の高騰や物流費・エネルギーコスト・製造労務費単価の上昇等により、大幅なコストアップに見舞われました。さらには豪雨や台風の発生、猛暑などの天候不順が販売面にも影響を与えました。2018年度の業績は、発売30周年を迎えた「流水麺」を中心に売上を伸ばし、健康商品や簡便商品の量的拡大を図りましたが、利益面はコストの大幅な上昇が影響し、伸び悩みました。

一方、内部環境では、2018年4月1日付で株式会社メルコホールディングスの完全子会社となると同時に、生産子会社10社を3社に集約し、グループ経営体制を再編しました。

そうした変化の中でシマダヤグループは、この3年間で中期経営計画にもとづく第1ステージと位置付け、「業務用」「調理麺」「海外」の三つの成長分野とエリアの拡大及び生産・物流体制を再構築すべく、重点的な取り組みを進めました。

この3年間で十分な成果を残せたとは言えませんが、工場への設備投資により生産キャパシティを拡大し、健康ニーズに対応した商品が新たな「柱」に育つなど、一定の進展が得られたと捉えています。

### 中期経営計画の後半3年間は 「攻め」と「守り」の変革を実行

2019年度からの中期経営計画の後半3年間は、第2ステージとして目指すべき「攻め」と「守り」を明確化した変革を実行します。

「攻め」のテーマでは、当社の独自技術と開発力が活かせる事業に集中し、成長市場における拡大に挑戦します。その中で、健康ニーズへの対応商品については、今年9月より新たに「健美麺」ブランドを市場に投入し、家庭用チルド麺市場初の機能性表示食品を発売します。また、食塩ゼロや糖質40%カット等を打ち出した冷蔵・冷凍の温度帯と家庭用・業務用の両事業の健康価値商品も「健美麺」ブランドとして展開します。

「守り」のテーマでは、事業ごとの収益構造改革を推進し、効率化と競争力アップを図りながら、経営基盤をさらに強化していく方針です。

2019年度の動きでは、コストの大幅な上昇により従来の商品価格を維持することが難しい状況となり、家庭用および業務用商品の価格改定を実施しました。また、中期経営計画の第2ステージを推し進めるため、社内体制の見直しにも着手しました。これらの取り組みを皮切りに、この3年間で「攻め」と

「守り」の変革を着実に実行し、第2ステージとしての成果につなげていきます。

### 社会・環境活動をより事業と 一体化させて推進

社会・環境活動については、2016年度から2018年度までを対象期間とする「中期環境目的・目標」を終了しました。3年間の活動成果を総括すると、全グループ工場および生産・物流部門の重点テーマに掲げた「①廃棄麺(スープ、具材、原料を含む)の削減」が一部工場で未達成となりましたが、営業および企画・研究開発部門の重点テーマに掲げた「②有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発と拡売」と、管理部門の重点テーマに掲げた「③有益な環境影響(省エネ、社会貢献、教育活動、リスク低減等)をもたらす活動の実行」は、それぞれ達成を果たしました。

2019年度から2021年度までを対象期間とする新たな「中期環境目的・目標」では、対象部門を本部単位に変更し、新たに三つの重点テーマ「①廃棄麺(スープ、具材、原料を含む)の削減並びに有益な環境影響(省エネ、省資源等)をもたらす活動の実行」「②有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発と拡売」「③有益な環境影響(業務の生産性向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等)をもたらす活動の実行」を策定して取り組んでまいります。

これからのシマダヤグループは、社会・環境活動をより事業と一体化させ、取り組みを推進していく考えです。多くの人々に「食」を通じて喜ばれ、暮らしの豊かさに貢献する企業、「おいしい笑顔」をお届けする企業であり続けることが私たちのコンセプトです。シマダヤグループは、そのコンセプトを守るための変革に積極的にチャレンジしながら、持続的成長を遂げてまいります。

# 安全・安心な商品をお届けします

お客様においしくて安全な商品をお届けし、安心してお召し上がりいただくこと。それはシマダヤグループにとって、すべてに優先します。シマダヤグループでは、各バリューチェーンにおいて、日々安全・安心を実現するための取り組みを行っています。

シマダヤグループでは日々お客様から寄せられるご意見・ご要望に応える商品開発に取り組んでいます。商品の品質に徹底的にこだわり、改善を続けていくことでお客様の満足度向上を目指しています。

▶ お客様の声にお応えした開発例はシマダヤグループ行動規範(P.11)をご覧ください。



企画部 鵜澤 昂弘

日頃から、お客様の声に耳を傾け、「本当にお客様に喜んでいただける商品」とは何かという事を第一に考え、開発に取り組んでいます。また、お客様に安心して手に取っていただける商品を開発するために、度々寄せられるお客様からの、シマダヤ商品に対するご要望に対して、迅速に対応し改善する事で、安全な商品がお客様の元に届くよう、心がけています。

企画

お客様へ

物流



お客様へ安全・安心な商品をお届けするために、物流段階での商品の衛生管理や異物混入対策等の管理を徹底しています。

シマダヤグループでは、安全性と環境に配慮し、3つの管理(①庫内・輸送車両の衛生管理②庫内・製品の温度管理③配送の効率化によるCO<sub>2</sub>削減)を行っています。①、②についてはシマダヤグループ独自の物流HACCPにより30を超える項目と基準を設けています。不適合と判断したものについては即日正処理を行う等、安全・安心な商品をお届けするためにチェック体制を整えて日々の業務を行っています。

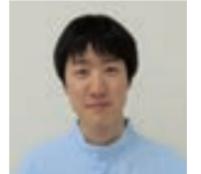


物流企画部 川村 祐輝

シマダヤグループ工場では、お客様へ安全・安心な商品をお届けするために日々生産を行っています。

異物除去装置の導入・運用といったハード面だけでなく、従業員教育を通じた衛生意識の向上等、ソフト面の取り組みも重要と捉えています。

前橋工場の製造二課では、生産ラインにX線検査機や金属検出器を導入し、商品への異物混入を防ぐ取り組みをしています。これらの検査機は、日々の生産前・生産中・生産後に、機械オペレーターが正常な動作を確認しています。加えて各生産ラインの検品担当者が、人の眼による検査をしています。私たち現場の作業者が扱っている商品は、たくさんのお客様の口に入る食品です。生産者として、安全について一切の妥協はありません。



シマダヤ関東前橋工場 飯塚 裕介

生産

## シマダヤの安全・安心を支えるバリューチェーン

研究開発

調達

安全・安心な商品をお届けするためには、安全・安心な原材料が欠かせません。シマダヤグループでは、供給メーカー様にご理解・ご協力をいただきながら、原材料の情報収集や工場査察を行い、安全な原材料の確保に取り組んでいます。

シマダヤが使用する原材料には小麦粉などの主原料、澱粉などの副原料、スープ、具材、食品添加物、容器包材などがあります。それぞれの原材料供給メーカー様から収集した製品情報および製造工程に関する情報の確認とともに、必要に応じて査察対応を行う事で原材料の安全・安心を確認しています。



品質保証統括部 浅野 友則

安全・安心な商品をお届けするために、研究開発部だけでなく、各グループ工場でも毎日のように微生物検査・理化学検査を行っています。微生物検査で衛生管理を行い、理化学検査で商品の品質が日々安定していることを確認しています。商品の安全・安心を支える重要な業務であることを常に意識し、グループ全体の関係者や関連部署と連携を取りながら、商品づくりに取り組んでいます。



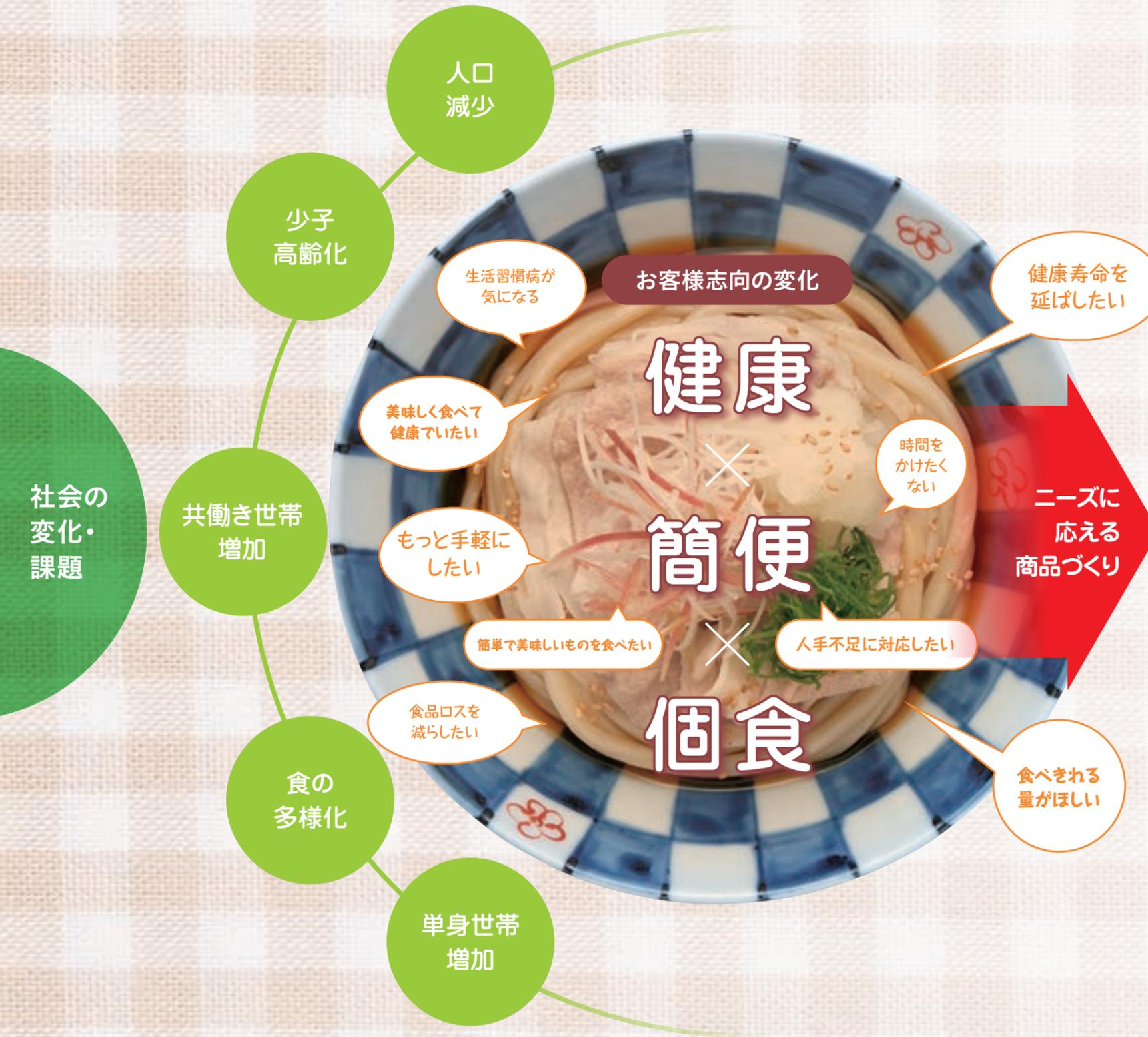
研究開発部 友兼 美穂



シマダヤグループでは、お客様のニーズに応えるために、技術開発や加工開発、保存技術開発に取り組んでいます。また、適正な商品が生産されるよう、生産工場や関連部署と連携し、安全・安心でおいしい商品づくりを行っています。

# 食を通して社会に貢献し続けます

シマダヤグループでは、社会の変化、お客様の意識の変化に応える商品づくりを進めています。



## 健康志向に応える商品づくり

近年、生活習慣病患者数の増加や、平均寿命と健康寿命の差、国民医療費の増大等が社会問題となっています。シマダヤは、「美味しく食べて健やかな食生活をサポートします」をコンセプトに健康志向に応える商品づくりに取り組んでいます。



### ● チルド麺初！機能性表示食品の開発

生活習慣病の原因のひとつである血糖値を気にされる方も安心して召し上がっていただけるうどん、そば、中華めんを開発しました。従来の麺と変わらない美味しさで、食後の血糖値上昇を抑えることができます。



「健康麺」食後の血糖値上昇を抑えるシリーズ

### ● 減塩への取り組み

日本人の食塩摂取量は目標値より多く、塩分を摂りすぎている実態があります。お客様の食塩摂取量の低減のため、原料や配合、製造工程を工夫し、食塩ゼロのうどんやそば、減塩のラーメンを開発しました。



「健康麺」塩分40%カット生ラーメン鶏ガラ醤油味



「健康麺」食塩ゼロうどん



「健康麺」糖質40%カットうどん



「健康麺」糖質30%カット生パスタリングイネ

### ● 糖質カットへの取り組み

シマダヤでは緩やかな糖質制限、ロカボに取り組んでいます。糖質を気にしている方でも美味しく麺を食べていただける様に、糖質をカットしたうどんやパスタを開発しました。

## 簡便志向に応える商品づくり

### ● 「流水麺」で調理時間を節約

ゆでずにさっと水でほぐすだけで食べられる「流水麺」は忙しい日でも簡単に調理ができます。また、火を使用しないため、省エネ・時短ができるエコ商品です。更に「流水麺」冷し中華はスープをかけてほぐすだけで食べられるため、より時短になる簡便商品です。

7分10秒の時短！



「流水麺」そば

※シマダヤ調べ 一般的なそばと「流水麺」そばを1食分調理した場合

### ● 時間が経っても美味しさそのまま！

業務用冷凍麺の「α麺」は流水解凍が可能で、別の作業をしながら麺の調理ができるため、人手不足の強い味方です。また、作り置きをしてもゆでたての美味しさをそのまま楽しめます。



「α麺」讃岐うどん



## 個食志向に応える商品づくり

### ● 1食入りで更にお手軽！

単身世帯の増加に対し、1食入りのうどんやそばをラインアップしています。また、つゆが付いた「流水麺」1食ぶっかけつゆ付や、つゆ・具材が付いた「長持ち麺」は、単身世帯の簡便・個食ニーズに適しています。



「流水麺」そば1食ぶっかけつゆ付



「長持ち麺」たぬきうどん

### ● 半分に割って使えるミニダブル

シマダヤの冷凍麺は半分に割って使えるミニダブル製法です。食べるシーンにあわせて半人前や大盛りと量の調節をすることができるため、食品ロスを削減することができます。



# シマダヤグループ行動規範を実践しています

シマダヤグループ行動規範とは、経営コンセプトの「おいしい笑顔をお届けします」の精神を具体的行動に移す際、守るべき重要な事項を、主にコンプライアンスの観点からまとめたものであり、シマダヤグループのあらゆる事業活動において優先されるものです。その6つの行動規範に則り実践をしている事例をご紹介します。



## 規範1 安全な商品とサービスを提供します

### シマダヤの品質に対する考え方

シマダヤグループでは「シマダヤ品質基本方針」に基づき、日々の活動に取り組んでいます。当方針では品質を商品品質としてだけでなく、組織や活動の質と定義しています。社員一人ひとりが「品質」を意識し、お客様への安全な商品とサービスの提供を何より優先することが重要であると考えています。



### 食品安全マネジメントシステム規格(FSSC22000)の取得

シマダヤグループ工場では、工場の管理レベルを向上させ、商品の安全・安心への信頼性を高めるため、HACCPを含む高度な国際規格であるFSSC22000に取り組み、2019年9月現在で9工場が認証を取得しています。

▶ FSSC22000認証取得工場はシマダヤグループ工場(P.4)をご覧ください。

### 安全・安心に配慮した生産体制

シマダヤグループ工場では各製造工程における異物除去措置や防犯カメラの設置、製造現場への入場管理清掃やメンテナンス、微生物検査・官能検査、異物混入防止対策等を実施しています。また、温度・湿度管理や、細菌が商品に付着しないよう「クリーン&コールドシステム<sup>\*</sup>」による品質管理を行っています。



<sup>\*</sup>クリーン&コールドシステム：ゆであがった麺に細菌がつかないように、機械を清掃・殺菌し、細菌が増えないように冷却した商品を冷蔵保存・冷蔵輸送するシステムのことです。出来上がった麺は徹底的な温度管理のもと10℃以下の冷蔵庫で保存され、冷蔵車で運ばれます。

## 規範2 お客様の満足と安心が得られるように最大限の努力をします

### お客様の声への対応

シマダヤグループでは、お電話、お手紙、メール等で寄せられるお客様からの様々なお問い合わせに対し、迅速かつ正確にお応えしています。お客様からいただいた貴重な声は、日報やお客様相談室通信により関連部門に伝え、より良い商品づくりに活かしています。

### ゆで麺の個包装を開けやすく改良しました

- ゆで麺類の右上にギザギザの切り口をつけ、手で簡単に開けられるようにしました。
- 切り口のデザインを入れ、どこから開ければ良いか一目でわかるようにしました。



### 鍋焼うどんの切り口を変更しました

- 切り口の位置を変更し、スムーズに開けられるようにしました。
- 調理の失敗を防ぐために、注意喚起を大きく入れました。



### 食品表示法への対応

シマダヤグループでは2015年4月より施行された食品表示法への対応を進めています。遵守事項のひとつである栄養成分表示の義務化について、従来のナトリウム表示を食塩相当量に換算した表示に変更しました。

また、シマダヤ独自の取り組みとして、生ラーメンや生冷し中華では、規定の茹で時間で調理した後の食塩相当量をめんとスープに分けて記載しています。

栄養成分表示	
製品1食(158g)当たり	
エネルギー	414kcal
たんぱく質	13.9g
脂質	8.9g
食塩相当量	69.6g
食塩相当量	7.2g
食塩相当量	めん 0.7g
食塩相当量	スープ 3.1g

(生ラーメンの栄養成分表示例)

## 規範3 法令を遵守し社会的理念に則った企業活動を進めます

### リスクマネジメントの推進

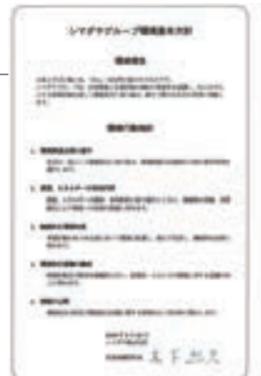
シマダヤグループでは、企業として存続・発展するために、その障壁となるリスクを正確に把握し、危機発生時の損失を極小化するリスクマネジメントに取り組んでいます。シマダヤグループ全体で、コンプライアンスを含めて想定されるリスクを洗い出し、リスクの発生要因を排除・削減するための実行計画を策定し、取り組みを推進しています。

## 規範4 地球環境問題に積極的、自主的に取り組みます

### 環境マネジメントシステムの推進

シマダヤグループでは「シマダヤグループ環境基本方針」のもと、中期環境目的・目標を掲げ、その達成に向けて、各部門で業務に沿った目的・目標を設定し、取り組みを推進しています。

▶ 「シマダヤグループ環境基本方針」、「環境推進体制」及び、2018年度の取り組み結果は環境報告(P.15~17)をご覧ください。



## 規範5 安全で働きやすい職場環境の確保に努めます

シマダヤ(株)では仕事と家庭の両立支援及び女性の活躍推進に向けての行動計画を策定し、取り組みを進めています。

### 仕事と家庭の両立支援に向けて

社員が仕事と家庭を両立させられるよう働きやすい職場環境を作ることによって、効率よく働くとともに、各人の能力を発揮して充実した生活を送ることを目的とし、次の行動計画を実施しています。

計画期間	2018年4月1日から 2021年3月31日までの3年間
目標	計画期間中に生産性を向上させ、1人当たりの年間総労働時間を3%削減(2018年度比)する

### 女性の活躍推進に向けて

女性が継続就業し活躍できる雇用環境の整備を行うために次の行動計画を実施しています。

計画期間	2016年4月1日から 2021年3月31日までの5年間
目標	全社員に占める女性の割合を25%以上とする

## 規範6 よき「企業市民」として積極的に社会貢献活動を行います

シマダヤグループでは、夏祭りや流しそうめん等の地域イベントへの参加や、めん打ち教室や工場見学受け入れ等の食育活動に取り組んでいます。また、年に1回グループ内で「社会・環境活動表彰」を実施し、社会・環境活動に対するモチベーション向上を図っています。

▶ 2018年度の取り組みは社会性報告(P.13~14)、「社会・環境活動表彰」は環境報告(P.17)をご覧ください。





**シマダヤ関東(株)埼玉工場 深谷市産業祭での焼そば提供**

シマダヤ関東(株)埼玉工場では、2010年度より毎年11月に開催される、埼玉県深谷市主催の深谷市産業祭に参加しています。

2018年度は11月10日(土)～11日(日)に参加し、埼玉工場で生産している「鉄板麺」を調理し、来場者約400名様に販売しました。お客様が「鉄板麺」を笑顔で召し上がる姿を見ることができ、貴重な機会となるとともに、従業員同士のコミュニケーションを深めることができました。



「鉄板麺」を調理し販売



埼玉工場で生産している「鉄板麺」

**シマダヤ西日本(株)岐阜工場 町内会 手打ちうどん作り体験の実施**

2018年8月25日(金)、シマダヤ西日本(株)岐阜工場がある輪之内町内会より依頼を受け、地域貢献の一環として大人5名様、子供8名様を対象に、手打ちうどん作りと工場説明を行いました。工場で麺ができる工程を知っていただくとともに、実際に麺づくりをすることで、より麺に対する理解を深めていただきました。打ちたて、茹でたてのうどんは参加いただいた方から好評いただきました。



手打ちうどん作り体験



工場の説明

**シマダヤ関東(株)東京工場 昭島市国内交流事業見学会実施**

シマダヤ関東(株)東京工場では2016年度から昭島市こども育成課青少年係より依頼を受け、昭島市国内交流事業見学会を行っています。昭島市国内交流事業見学会は、昭島市の交流都市である岩手県岩泉町の児童との交流を深める一環として実施されております。

2018年度は8月3日(金)に実施し、児童43名様と職員13名様を対象に、工場見学と東京工場で生産している「流水麺」そうめんを使用した「流しそうめん」を行いました。



流しそうめんの様子



東京工場内で実施

**地域清掃活動の実施**

シマダヤグループでは、地域貢献及び環境意識の向上として事業所周辺の清掃活動を継続的に実施しています。開発研究所・名古屋支店では月1回、ロジスティクスセンターでは2週間に1回、シマダヤ東北(株)仙台工場では月1回実施しています。そのほかの事業所でも定期的に清掃活動を実施しています。



ロジスティクスセンター 周辺の清掃活動



名古屋支店前の公園

**中学生の訪問学習受け入れ**

2019年3月15日(金)、特定非営利活動法人学校サポートセンターより依頼を受け、福島県郡山市立大槻中学校2年生7名様の訪問学習の受け入れを行いました。工場で麺ができる工程や、麺のコシに必要なでんぷんとグルテンについて座学や実験を行いました。また、「流水麺」を使った調理体験と試食を行い、調理の簡便性と美味しさを感じていただきました。



座学の様子



「流水麺」の調理体験

**地域小学校の工場見学受け入れ**

シマダヤグループでは地域小学校の工場見学を継続的に受け入れています。

2018年度はシマダヤ関東(株)東京工場で計13校899名様、シマダヤ東北(株)郡山工場で計3校106名様、シマダヤ西日本(株)岐阜工場で1校28名様の工場見学受け入れを実施しました。普段見ることのできない麺の製造現場を見学でき、貴重な体験ができたことご評価いただきました。



工場見学の様子



子どもたちからの手紙

**インターンシップの受け入れ**

シマダヤグループ工場では、各地域の学生のインターンシップを継続的に受け入れています。

実際に工場の製造工程に入り、従業員と同じ作業を行う体験を通して、働くことへの考え方を養っていただくとともに、シマダヤグループの事業を理解していただきました。



製造体験の様子

工場見学では、シマダヤの社名の由来、CIマークの意味を一つずつ丁寧に説明し、シマダヤと麺を身近に感じてもらえるよう、心掛けています。後日、小学生一人ひとりから、お礼の手紙を頂くこともあり、従業員にとっても大きな励みになっています。



シマダヤ東北(株) 郡山工場  
伊藤 章

**流しそうめんで大活躍!**

シマダヤの「流水麺」そうめんは茹でずに食べられることができるため、「流しそうめん」のイベントでも大活躍しています。





## シマダヤグループ環境マネジメントシステム

シマダヤグループでは、「シマダヤグループ環境基本方針」のもと中期環境目的・目標を掲げ、それを達成させるために、各部内で業務に沿った目的・目標を設定し取り組んでいます。

### シマダヤグループ環境基本方針

#### 環境理念

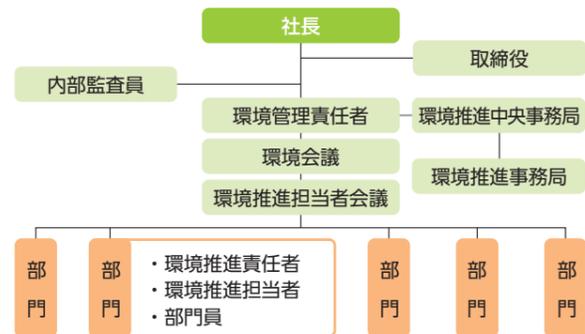
小麦とそばと塩と水。「めん」は自然の恵みそのものです。シマダヤグループは、自然環境と企業活動の調和の重要性を認識し、めんを中心とする事業活動を通して環境保全に取り組み、健全で豊かな社会の実現に貢献します。

#### 環境行動指針

- 1.環境関連法規の遵守**  
社会の一員として環境保全に取り組み、環境関連の法規制その他の要求事項を遵守します。
- 2.資源、エネルギーの有効利用**  
資源、エネルギーの節約、有効利用に取り組むとともに、廃棄物の削減、再資源化により環境への負荷の低減に努めます。
- 3.継続的な環境改善**  
事業活動のあらゆる面において環境に配慮し、絶えず見直し、継続的な改善に努めます。
- 4.環境保全意識の醸成**  
情報収集及び教育を積極的に行い、従業員一人ひとりの環境に対する意識の向上に努めます。
- 5.情報の公開**  
環境基本方針及び環境保全活動に関する情報を広く社内外に開示します。

2004年1月19日制定  
2008年6月25日改訂  
シマダヤ株式会社 代表取締役社長 **木下 紀夫**

### 環境推進体制



### 活動の推進役と役割

全社の推進役	社長	全社の活動の最高責任者 (シマダヤの代表取締役)
	環境管理責任者	全社の活動の責任者
	環境推進中央事務局	環境管理責任者の補佐
部門の推進役	環境推進責任者	部門活動の責任者 (活動の単位の部門長、グループ会社は工場長)
	環境推進担当者	部門活動のリーダー

※部門単位で活動を推進しており、環境マネジメントシステム上では、グループ会社は工場単位で1つの部門として活動しています。

## シマダヤグループ中期環境目的方針(2016年度～2018年度)

**グループ全体方針** 「安全・安心、環境に配慮した商品で、おいしい笑顔をお届けします」  
～一人ひとりが、仕事や生活の中で環境のことを考えた行動をします～

- 生産・物流、工場部門方針** 資源・エネルギーの有効利用と廃棄物(スープ、具材、原料を含む)を低減する生産をします
- 営業、企画・研究開発部門方針** 有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発・拡売をします
- 管理部門方針** 有益な環境影響(省エネ、社会貢献、教育活動、リスク低減等)をもたらす活動の実行により、企業の社会的責任を果たします

## ▶ 中期環境目的・目標 2018年度取り組み報告

### 重点テーマ1 廃棄物(スープ、具材、原料を含む)の削減

対象部門	中期環境目的	2018年度実績
全グループ工場	廃棄物(スープ・具材・原料を含む)の削減 (2014年度原単位比で18.1%削減)	● 計画的な設備保全や定期的なメンテナンス実施の効果はあったが、設備トラブルや人的ミスが発生し、廃棄物が発生した。
生産・物流部門	廃棄物(スープ・具材を含む)の削減 (2014年度重量比15.0%削減)	● 営業とのコミュニケーションや生販会議、天候変化への対応に注力したことにより廃棄物を削減した。

### 重点テーマ2 有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発と拡売

対象部門	中期環境目的	2018年度実績
営業部門	有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の拡売	● 健康、簡便価値商品の店頭での下段展開や販促物設置等により認知・拡売した。 ● 人手不足による簡便志向への高まりに対し、展示会等で提案し、拡売へ繋がった。
企画・研究開発部門	有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発と拡売	● 「流水麺」の賞味期限延長や、機能性表示食品の開発を実施した。 ● 「流水麺」の店頭販促物や業務用メニューBOOKを作成し、商品の拡売に繋がった。 ● 生産工場においてFSSC22000に基づく適切な運用を推進した。

### 重点テーマ3 有益な環境影響(省エネ、社会貢献、教育活動、リスク低減等)をもたらす活動の実行

対象部門	中期環境目的	2018年度実績
管理部門	有益な環境影響(省エネ、社会貢献、教育活動、リスク低減等)をもたらす活動の実行	● 新たなシステムを導入し、業務の効率化やミスの削減、紙の削減を実現した。 ● 業務マニュアルを作成し、業務管理におけるリスクを低減した。 ● 新入社員や新任管理職、内定者に対し環境教育を実施した。

### 廃棄物の削減に取り組んでいます

#### 「流水麺」冷し中華の賞味期限延長による食品ロス削減

店頭や家庭での商品廃棄を削減するために、商品の賞味期限延長に取り組んでいます。

2018年度は、独自の技術や配合、製造現場における衛生管理向上によって、「流水麺」冷し中華を消費期限6日間から賞味期限10日間へ延長しました。また、「流水麺」冷し中華は「スープでほぐすだけ」で食べられるため、より時短になるとともに、家庭での水使用量削減にも貢献しました。

#### 生販会議の実施

商品の過剰生産、過剰在庫を抑制するために、生産物流本部と営業本部で生販会議を実施しています。

生販会議では直近の生販状況や在庫量の共有、見込みと対策等を議論しています。また、商品だけでなくスープや包材等の在庫状況も共有し、原材料・資材の廃棄抑制にも努めています。

### 取り組み事例



研究開発部 増井 寛将

品質維持を前提とした賞味期限延長の実現は難しいテーマでした。ラボ検討からライン導入まで約1年を費やし、非加熱喫食の「流水麺」に必要な食感維持技術の見直しおよび保存性確保に向けた新製法導入を実現することができました。これからは賞味期限延長に挑戦し続けるとともに、店頭および家庭だけでなく、工場・倉庫を含めた全ての過程での食品ロス削減に貢献して参ります。



生産企画部 山崎 正志

天候によって数量が左右し生産予測の仕組み化が難しく、また時間毎に注文状況を管理するため、属人化になりがちですが、担当者の予測に加えて、毎週末に部内メンバーで生産予測をたてて取り組んでいます。引き続き、生販会議を通して、欠品のない生産体制と同時に廃棄物削減に努めて参ります。

### 環境に配慮した商品開発に努めています

#### 段ボールの使用量削減

商品に使用するトレーや包材、段ボールの使用量を削減し、環境への影響を低減する取り組みを進めています。

2018年度は「流水麺」等の家庭用チルド商品を中心に段ボールの材質変更及び段ボールサイズの削減に取り組ましました。また、資材使用量の削減だけでなく、CO<sub>2</sub>発生量の削減も実施しました。

### 取り組み事例



研究開発部 池田 斐太

2019年春夏家庭用チルド商品を中心に段ボールサイズを変更し、トータル使用量を削減しました。今回の取り組みにおいて、段ボールへの入れ方変更やサイズ適正化に努め、段ボールつぶれおよび物流効率も改善しました。サイズ適正化に伴う破袋リスクや機械適性を踏まえ、工場や関係部門と連携して実現することができました。

## 2018年度「社会・環境活動表彰」

2012年度より、従業員一人ひとりの社会・環境活動に対するモチベーションの向上を目的として「社会・環境活動表彰」を実施しています。2018年度の活動においては、グループ全体で37件のエントリーの中から、6件が

表彰され、2019年7月の環境会議で表彰式を行いました。シマダヤグループは引き続き、身近な取り組みをはじめ、グループ全体に広がりのある社会・環境活動の活性化を図ってまいります。

### 2018年度「社会・環境活動表彰」

表彰者	活動内容
1 経営企画部 SPAチーム	ペーパーレスシステム導入によるロスの削減
2 お客様相談室	企業訪問学習の受け入れによる継続的なキャリア教育及び食育活動の実施
3 システム部	web会議システム導入による業務効率化
4 シマダヤ関東(株)東京工場 総務部・製造部	国内交流事業見学の受け入れによる継続的な食育活動の実施
5 シマダヤ西日本(株)岐阜工場 製造部	社会科見学の受け入れによる継続的な食育活動の実施
6 シマダヤ東北(株)郡山工場 製造課	製造工程における廃棄物の削減

## 環境研修を実施しています

シマダヤグループでは、従業員に対する環境研修を実施しています。

2018年度は新入社員研修にて、環境活動に取り組む意義やISO14001・シマダヤグループ環境取り組みの仕組み、社会・環境活動の取り組み例を説明しました。

また、環境推進担当者研修では、環境推進担当者の役割の他、廃棄物処理法・食品リサイクル法といった基本的な法律の要求事項を共有しました。

その他、新入社員フォローアップ研修や、環境推進担当者・事務局員合同会議、内部監査員研修、新任管理職研修等を実施し、グループ全体での環境取り組みを推進しています。

## ISO14001:2015の登録更新が承認されました

シマダヤグループでは、2003年より環境取り組みを開始し、2004年にシマダヤとシマダヤ関東(株)東京工場がISO14001の登録審査を受け、審査登録されました。その後順次適用事業所を拡大し、2019年9月現在でシマダヤ(株)及びグループ会社3社12工場が登録範囲となっています。

2018年度は生産子会社再編によるEMS文書変更や法

規制関連書類の見直し・提出がありました。各部門にて適切に対応し、更新審査の結果、ISO14001:2015の登録更新が承認されました。



▶ ISO14001適用事業所はシマダヤグループ概要(P.4)をご覧ください。

## 2019年度から新たな中期環境目的方針(2019年度～2021年度)に取り組んでまいります。

グループ全体方針

「安全・安心、環境に配慮した商品で、おいしい笑顔をお届けします」  
～一人ひとりが、仕事や生活の中で環境のことを考えた行動をします～

生産物流本部方針

廃棄物(スープ、具材、原料を含む)の削減と有益な環境影響(省エネ・省資源等)をもたらす活動をします

営業本部・開発研究所方針

有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発・拡売をします

管理部門方針

有益な環境影響(業務の生産性向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等)をもたらす活動をします

## 第三者意見



古谷 由紀子 氏  
博士(総合政策)、  
サステナビリティ消費者会議代表

### プロフィール

- 博士(総合政策)、サステナビリティ消費者会議代表、中央大学経済研究所客員研究員(2019年～)。(一財)CSOネットワーク代表。
- 企業の品質、コンプライアンス、デジタルトランス、サステナビリティ等委員会の社外委員
- 消費者庁、総務省、経済産業省等の審議会や検討会に参加。
- 主な著作物には、  
「消費者志向の経営戦略」芙蓉書房出版(2010年)、  
「現代の消費者主権」芙蓉書房出版(2017年)、  
「企業の消費者教育の意義と責任」日本経営倫理学会(2017年)、  
「『持続可能な消費』を進めるために」企業と社会フォーラム(2017年)など

今年の報告書は「シマダヤグループのバリューチェーン」「社会の変化・課題に答える商品づくり」「シマダヤグループ行動規範」という3つの重要な視点をもとに構成されているという特徴があります。それぞれにコメントいたします。

### 「シマダヤグループのバリューチェーン」について

企画・研究開発、調達、生産、物流、消費者という、バリューチェーンに着目し、商品の安全、そして環境に関する取り組みについてのわかりやすい説明が、消費者の安心にもつながります。持続可能性への取り組みに欠かさない視点であると考えます。今後、バリューチェーンの過程で見るべき社会・環境課題として、昨今企業で熱心に取り組みが進みはじめているSDGs(持続可能な開発目標)やビジネスと人権に関する指導原則に照らし合わせて、貴グループで取り組むべきものを検討されることを期待します。特に貴グループでは「麺」という食品を扱っており、目標1「貧困」、目標2「飢餓」、目標12「持続可能な生産・消費」には直接関わり、特に目標12には下位目標に食品ロスの問題も掲げられており、無縁ではないと考えます。これらの目標の達成について具体的にコミットしていく必要があると思われまます。また「ビジネスと人権に関する指導原則」についても、現在、我が国の行動計画が策定中であり、企業の取り組みも問われてくると考えます。

### 「社会の変化・課題に答える商品づくり」について

社会は急速に変化しており、さまざまな社会課題も生まれ、社会の変化・課題に着目した商品づくり、特に「健康」「簡便」「個食」のニーズなどに「攻め」の姿勢で取り組まれることは社会の課題に対応した取り組みであると考えます。

さらに企業の持続可能性への取り組みを向上させるためには、食品メーカーとして今後ますます多様化する消費者のニーズへの対応はもちろん、調達、生産、物流など製造過程におけるリスクマネジメントをしっかりと行い、正確な情報を消費者に開示していく姿勢が求められます。

### 「シマダヤグループ行動規範」について

経営コンセプトの「おいしい笑顔をお届けします」の精神を具体的な行動に移す際の守るべき事項としてまとめられた「行動規範」は貴グループの姿勢を表すものであり、具体的事例とともに示されたのは良い取り組みと考えます。

今後、前述したように、貴グループが取り組むべき社会・環境課題を念頭に置いて「行動規範」の深化も期待します。

### 第三者意見を受けて



シマダヤ株式会社  
専務取締役 人事総務部長  
(環境管理責任者)  
相馬 紳一郎

古谷様には、今年も引き続き貴重なご意見を頂き厚く御礼申し上げます。2018年度は中期経営計画第一ステージ3カ年の最終年度であり、経営計画に合わせた3年間の事業と一体化した中期環境目的を設定し取り組んで参りました。結果については、グループ工場での廃棄物削減目標は未達であったもののその他の目標は各部門・グループ工場の努力により達成出来ました。2019年度からは中期経営計画第2ステージ3カ年の期間に合わせた新たな中期環境目標方針を策定し取り組んで参ります。古谷様の本報告書に関して頂いたコメントにあります、バリューチェーンの過程で見るべき社会・環境課題への取り組みや食品メーカーとしてのリスクマネジメントの更なる整備を行って参りたいと思います。特に食品ロスの問題への取り組みも重要と考えます。また、経営コンセプトの「おいしい笑顔をお届けします」のために、当社グループが取り組む社会・環境課題を把握し行動規範の深化にも努めて参ります。